

新年
賀

新年のご挨拶



自治会 会長
野根 幸子

明けましておめでとうござい
ます。

皆様にはお健やかに新年をお迎え
のこととお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症
との戦いで不自由な思いをされてこ
られた方が多かったのではないでし
ょうか。その中でも2020東京オ
リンピック・パラリンピックでの選
手の活躍は明るい話題となりました。

一方で、自然災害が繰り返し発生
し、A.CITYでも大雨による被害
が数多く起きました。また、イノシ
シや熊・猿などの動物の目撃も増えま
した。マンションでは人間関係が希
薄になりやすいという特徴がありま
すが、こんな時代だからこそ「近所
力」をアップして、住民同士が顔の
見えるお付き合いや助け合いがで
きるように、管理組合・自治会・防
災士と一緒に活動できる組織づく
りを進めています。

2022年は「壬寅（みずのえと
ら）」の年です。「壬寅」は厳しい寒
さを耐えれば命の芽吹く春が来る
ということを表しているそうです。
A.CITY自治会でも、大きな
花を咲かせる準備と2年間も行事
ができない状況でしたので、色々な
意味で「継承」ということも考え、
役員一同力を合わせてまいりたい
と思っています。皆様のご理解ご協
力をお願いいたします。

今年一年が皆様にとりまして健
やかな年になりますよう祈念いた
します。

新年を彩る

門松とお正月飾り



新春にふさわしい門松とお正月
飾りが、年末にA.CITYに設置
されました。門松はステージ住区
に、正月飾りはイースト住区1階の
エントランスロビーです。

コロナ禍以前には、毎年各住区で
手作りしていたこともあった門松。
初めて門松づくりを見たり、手伝っ
たりという住民の方がほとんどで、
マンションとしては珍しい年末の
恒例行事になっていました。

しかし近年は美しい門松を作る
のに必要な、真っすぐ伸びた竹の切

り出しや運搬が困難になってきたこ
とや、門松に必要な副資材（松竹梅
の枝ものや門松用の荒縄）の価格が
高騰してきたことを受け、全住区で
作ることが難しくなりました。

そんな中でもステージ住区は、住
民有志の方たちが毎年門松づくりを
継続しておられます。その甲斐あつ
て、竹や葉ボタンのバランスも整っ
た門松になっています。

一方、イースト住区の正月飾りも
恒例の年末行事です。当時の住区長
発案から始まり、今年で18年目にな
りました。マンションで正月らしい
風景が楽しめるのも小さなアイデア
の賜物ですね。製作に携わった住民
の皆様、ありがとうございました。



A. CITYの行事予定

1月 8日（土） 有価資源ごみ回収日
1月16日（日） 自治会定例役員会

1月22日（土） 有価資源ごみ回収日
2月12日（土） 有価資源ごみ回収日



A. CITY防災士による 年末町内パトロール

数年に一度と言われる寒波が日本列島に流れ込む中、年末恒例の町内防犯パトロールを実施しました。

今回は、防災士のメンバーが集まり、管理センターを出発して、児童館向いの石の公園（天の河広場）からスタート。住民から「アーバン一番館裏の里山付近から、漏水していた」との情報があり、その箇所のチェックも行いました。パトロールには、ヒルズ管理組合理事長も同行し、防災士と共に漏水があった箇所を確認。関係各所への連絡や専門業者への対応依頼等の状況について説明を受けました。

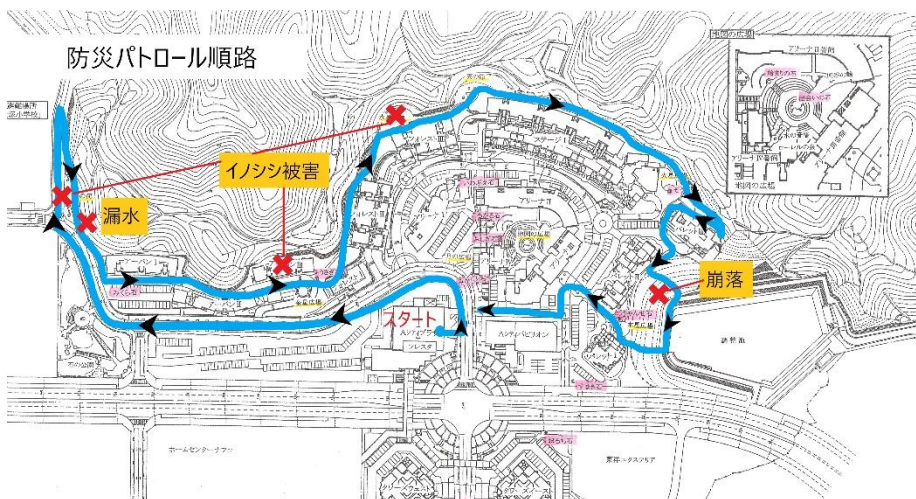
その後、里山沿いの歩道を歩き、イノシシの掘り返した跡や通り道、パレット皿番館の裏・調整池水害の跡を確認しました。とくに、昨年の豪雨による地盤沈下や、排水溝の崩落被害が多かったパレット調整池付近は、未だ修繕が行われていない箇所もあり、立入禁止のままになっています。

被害状況に参加者で共有した後、パレット住区東側法面の破損箇所や、イノシシ対策等について意見交換しながら管理センターに戻りました。

参加者は11名。終了後は温かい飲み物が配られ、パトロールは約1時間で

終了しました。

皆さんも、日頃の生活で「ここは危険だな」と不安を感じる箇所があれば管理センターまでお申し出ください。



→ 今回の被害確認場所一覧

年末一斉防犯パトロール 決起大会に参加

12月12日(日)に大塚・伴南学区社会福祉協議会による安佐南区年末一斉防犯パトロール決起大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、密を避けるために、今回は限られた人数(4名)で参加しました。16時に広域公園テニスコート管理事務所のロビーに参加者が集まり、大塚・伴南学区社会福祉協議会・熊本会長や火之迫大塚・伴南地区防犯組合長によるご挨拶に続き、こころ自治会立山副会長によるご挨拶の後、A. CITYに向けて行進し、児童館向かいの石の公園のイノシシ出没跡などを確認しました。



↑ 年末一斉防犯パトロール決起大会

お猿さん出沒中 侵入被害に注意

昨年末から、ヒルズ敷地内や周辺地域より、猿の目撃情報が多数寄せられています。A.CITYでは以前にも、敷地内車路や歩道で猿が目撃され、注意喚起を行ったことがあります。

猿は知能が高く、追い払いによる駆除が困難で、近年市街地への出沒が増加しており、全国的な地域の課題になりつつあります。

噛みつき等の被害にあわないためにも、猿の性質を知り、猿に狙われづらい周辺環境をつくりましょう。

◆猿が出没しやすい環境◆

①エサとなる食物がある

柿やどんぐりなどエサとなる樹木が多く植えられていたり、ベランダに生ゴミや残飯を置いていると、それを狙って出沒する。

②人間から威嚇を受けなかった

エサを探しにいった集落や団地で人間から威嚇や追い払いを受けないと「ここの住民は危害を加えてこない」と猿が学習し、再来する。

③出入口の扉が常時開放されている

オートロックになっているからといって、外扉や非常階段・駐輪場扉を開放したままにしていると、住民が

多く出入りする時間帯を学習し、住民が、以前から見受けられた場所でもあ

◆猿に遭遇したら◆

大きな声や物音を立て、威嚇して追い払いをすることが肝心です。

ただし、無理は禁物です。サルが威嚇してきて怖いと感じた場合は、無理をせずその場から離れましょう。目を合わせると敵意と捉えることがあるので、目を合わせずに刺激しないよう遠ざかりましょう。エサとなるような生ゴミは収集日の当日に出す、マンシヨンの扉を開放したままにしない等の普段の心がけで、猿に興味を持たれづらい環境を作りましょう。



アリーナ周辺の車止め ポール前駐車について

アリーナII番館、III番館前の車路における駐車についてのご案内です。

こちらのスペースは、車路に隣接しており、居住者の方が荷降ろし等で利用するのに便利なエリアなのですが、荷降ろしや積み込み以外の長時間駐車

このエリアに長時間駐車されます

と、消防車や救急車等の緊急車両の進入や、引っ越し・大型家電や家具の搬入搬出・マンシヨンの維持管理業務における機材搬入の支障にもなります。

また駐車している車両の死角による事故等も懸念されることから、荷物の積み下ろしで駐車される以外は（5分程度）、短時間でも来客駐車場やA.CITYプラザ駐車場をご利用ください。



《自治会員対象イベント》

お年玉大抽選会 開催延期のお知らせ

令和4年1月9日より、広島市が新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の対象地域となりました。それに伴い、プラザ大ホール等集会室の使用が中止となりましたので、大変残念ですが、1月16日(日)に開催予定だったお年玉大抽選会を延期することにいたしました。

なお、開催の詳細が決まり次第、あらためて開催のご案内をお届けいたしますので、お楽しみを先延ばしして申し訳ありませんが、ご理解の上、今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

主催/A.CITY自治会
A.CITY自治会員の皆様へ「お年玉」限定企画
Wチャンス **大抽選会**
令和4年 **1月16日(日)** 会場/A.CITYプラザ 大ホール
抽選受付/13時～15時
抽選会

開催延期

＜抽選券＞
ご当選の際はお持ちください！
住 区 ()
お名前 ()
※この券は抽選会当日のみ有効です。

＜抽選券＞
住 区 ()
お名前 ()
※抽選券は抽選会当日に引き換えが必要です。

防災士雑談記

VOL.31

早いもので、平成30年1月から始まった『防災士雑談記』も3年目になりました。

VOL.3まではフォレスト住区の防災士・山田繁樹氏がコラムを担当していましたが、平成31年4月から防災士によるリレーコラムとしてリニューアル。

その時に記事を書いたのが私で、約2年を経て再びの登場となりました。今ではA・CITYの防災士も26名になり、多くの住民が防災に関心を持っていたいです。今号では改めて防災士の活動について紹介させていただきます。

防災士は平成7年に起きた阪神・淡路大震災をきっかけに、今後は民間にも地域の防災を担う人材が必要であること、そしてその人材を育成することを目的にNPO法人日本防災士機構が設けた資格制度になります。

この制度は平成15年に始まり、現在の防災士数は全国で219,103名（2021年12月末現在）。近年では全国で災害が多発していることもあ

り、受験者も増加しています。

都道府県別の取得者数は、東京都（183,611名）、愛媛県（10,850名）、大分県（11,931名）と続き、広島県（4,861名）は全国で17番目となり、関心の高さが窺えます。

なお男女比では、男性が約83%、女性が約17%となっています。

災害が発生した時は、まずは「自助」、自分の命は自分で守ることが大切です。次に「共助」、地域や職場で助け合い被害拡大を防ぎます。

防災士は「自助」に対する住民の意識向上、「共助」における地域のリーダーシップ役を期待されています。そして「協働」。普段から行政をはじめ防災・減災に関わる団体と連携し、研修や訓練等を通じ、協働で災害に強い街づくりを進めます。

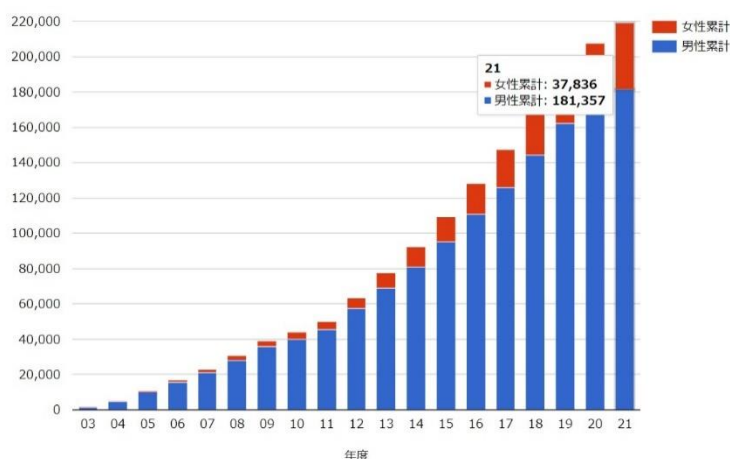
団体によって活動内容は様々ですが、A・CITYでは毎年の防災訓練の運営、マンション周辺の危険個所のチェックや対策、各種防災情報の発信、防災士候補への勉強会実施、防犯パトロール、他地域や団体への防災教育支援など、幅広い活動を展開しています。

近年では新型コロナウイルス感染症流行の影響で活動の場も限られてきましたが、今年も新たに7名の防災士が

誕生し、各々の得意分野を活かしながら活動が続けていく予定です。

本年も引き続き、安全な街づくりのため防災活動へのご支援とご協力をお願いいたします。

（防災士／パレット住区・西田光憲）



防災士資格取得者の推移 出典：日本防災士機構

管理会社からのお知らせ

降雪の季節になりました。とくに夜間・早朝等、館内及び機械式駐車場パレットが大変滑りやすくなります。機械式駐車場を利用されている方は、操作及び昇降に充分お気をつけください。

また、積雪の状況によっては、機械式駐車場の操作ができなくなる場合があります。寒波到来の予報が出ましたら、なるべく外出を控え、機械式駐車場を利用されている方は、代替交通機関を想定するなどの準備を、各自で心がけていただくようお願い申し上げます。

